

【キャリア教育センター】2024（令和6）年度 FD 活動の「年間計画」

1. 今年度の取り組み（前年度の「FD 年間報告書」から修正）

前年度に実施した学習成果実感調査の結果については、担当教員にフィードバックし、今年度の授業改善に役に立てる。今年度以降もすべての科目において学習成果実感調査を実施し、教育効果測定の結果と合わせて授業改善につなげていきたい。

2. 「1」を踏まえて、今年度の重点テーマ・目的・期待する効果等についてお書きください。

(1) テーマ：

キャリア教育センターが開講する、産学協働教育科目の教育効果や満足度の検証

(2) 目的：

経済産業省・文部科学省・厚生労働省による「インターンシップの推進に当たっての基本的考え方」を受け、インターンシップ系科目の新カリキュラムを昨年度編成した。その結果、文科省の「2023（令和5）年度大学等における学生のキャリア形成支援活動表彰」の最優秀賞の受賞となり、5月29日には成果普及のシンポジウムを開催予定である。また、新型コロナウイルス拡大により休止・縮小していた海外インターンシップは今年度から派遣地域を増やし、本格的に実施予定である。従って、これらの新体制で開始したインターンシップ・キャリア実習系科目の運営、特に企業に協力いただく科目についての課題検証や受講生の満足度検証を行いたい。各科目の教育効果や満足度を検証し、教員間で改善点を共有するとともに、次年度以降のカリキュラムの改善やティーチングガイドブック改訂に活かしていく。

(3) 期待する効果：

アンケートによりカリキュラム改革や教育内容の改善の効果を確認し、その結果を担当教員にフィードバックすることで、さらなる科目改善につなげていく。キャリア教育センターが開講する科目で共通のアンケートを実施することで、包括的な視点でカリキュラムの改善に必要な情報を収集することができると期待している。

3. 公開授業等について

公開授業やワークショップは、教員間で教授法を学び合う機会、学部のカリキュラム改善等について検討する機会として年1回以上設定・実施してください。

なお、実施にあたっては、出席者の記録をお願いいたします。出席者記録の提出は不要ですが、年間報告書にて、出席人数の記載をお願いいたします。

なお、出席者記録は、提出をお願いする場合がありますので、保管しておいてください。

(1) 公開授業・ワークショップ：

※公開授業と公開授業に関するワークショップが対象

(2) その他研修会等：

※(1)以外の学部FDとして実施する研修会が対象（人権研修会を除く）

※この内容は本学におけるFD活動の一環として、本学HPに掲載します。